



MESSAGE NOTES

神を知っている証拠 – それは愛

第一ヨハネの手紙 2:3-17

ロイド・フラハティ

1. 神様の命令への従順

1 ヨハネの手紙 2:3-6 3 もし私たちが神の命令を守っているなら、それによって、自分が神を知っていることが分かります。4 神を知っているといいながら、その命令を守っていない人は、偽り者であり、その人のうちに真理はありません。5 しかし、誰でも神のことばを守っているなら、その人のうちには神の愛が確かに全うされているのです。それによって、自分が神のうちにいることが分かります。6 神のうちにとどまっていると言う人は、自分もイエスが歩まれたように歩まなければなりません。

神様を知っている証拠とは、神様の命令を守ることです。神様への愛はそれによって完全となります。

2. 神の命令：互いに愛し合いなさい

1 ヨハネの手紙 2:7-11 7 愛する者たち。私があなたがたに書いているのは、新しい命令ではなく、あなたがたが初めから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いているみことばです。8 私は、それを新しい命令として、もう一度あなたがたに書いているのです。それはイエスにおいて真理であり、あなたがたにおいても真理です。闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。9 光の中にいるといいながら自分の兄弟を憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。10 自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。11 しかし、自分の兄弟を憎んでいる人は闇の中において、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのかが分かりません。闇が目を見えなくしたからです。

私たちは神様が私たちを愛してくださるように、神様を愛し、互いに愛し合うように創られました。互いに愛し合うことが、神様の命令に従うことなのです。他の人を愛することは光の中を歩んでいる証であり、憎しみは暗闇の中で生きていることの表れです。

3. この世と調子を合わせることへの警告

1 ヨハネの手紙 2 (12-14 略) 15-17

15 あなたがたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。17 世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

私たちは物を利用し、人を愛するのであって。人を利用し、物を愛するべきではありません。

まとめ：どれほど神様から離れていても、「私は救われているから大丈夫」ではなく、神様を愛するがゆえに、私たちは神様に近づくことを求めるのです。